

第8回 旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会（議事概要）

- 1 日時 令和3年7月15日（木）午前9時～10時25分
- 2 場所 市役所本庁舎7階 第1委員会室
- 3 出席者 (1) 委員（Web会議1名）
柳委員長、福山副委員長、飯野委員、木田委員、堤委員（Web会議）、湯口委員
(2) 事務局
高橋企画推進部長、河井経営統轄監、渡邊次長兼政策企画課長、平田政策企画課課長補佐

4 内容

●委員長挨拶

今日は、市民アンケートについて皆様に議論していただきたい。

●委員からの主な意見

(1) 市民アンケートについて

- 委員 資料の確認をしたい。資料1の裏面「アンケートの活用策の候補と考えるもの」について、『「活用の仕方・テーマ」であるため』と2カ所あるが、この言葉で理解できなかった。
- 事務局 今回、整理したいのは具体的な活用策である。例えば資料2-3、P2 小学校統廃合用地、若者の学習拠点、このような回答をいただきたいと考えている。移住定住に繋がる活用、鳥取ならではのキーワードは、活用の仕方・テーマであり具体的な活用策ではないと判断した。
- 委員 趣旨は想像がついた。カギ括弧があるのでどこかで定義が使われていると思ったが機能でもない。特に定義はないか。
- 事務局 昨年度行ったアンケートの中で、活用の仕方、活用のテーマという言葉を使った。
- 委員 活用策、機能よりさらに大きい部分ということか。10の交流の場はどうか。
- 事務局 交流の場はWSの中での意見。今回は、具体的な活用策を聞きたいという趣旨。
- 委員 大分、明確になった。「現状と方針」は書き方を替えた方がいい。①②で色が違うのはなぜか。
- 事務局 白の①・⑨・⑩は、WSで取りまとめられた意見。黒②はこれまでに出了活用策である。
- 委員 それなら記載した方がいい。BはWSで出なかったがなぜ復活したのか理由が必要。砂丘を体験できるテーマパークはやめた方がいい。この辺どう整理されたのか。Aの小学校統廃合用地はいい。カルチャーセンターと学生交流施設はどう違うのか。多目的ホールと音楽ホールはどう違うのか。市民会館が隣接しているので図書館と同じ整理ができないか。市民ギャラリーと美術館はどう違うのか。学生交流施設とこども教育施設はどう違うのか。学習と遊ぶ場ならそこを明確にすべき。子ども文庫は図書館に近いが図書館は外れている。もう少し整理できる。市民ギャラリーは市民会館で展示できる。子どもの遊ぶスペースとこども教育施設、イベントホールと多目的ホールはどう違うのか。もう少し整理できる。BとDは書かなくていい。市は整備しないけど、民間が整備するなら受け入れる。そうするとAとCは絞って質問できる。
- 事務局 質問の整理をしたい。教育・学習、芸術・文化機能の中での、例えば学生交流施設とこども教育施設の違いについて、我々としては、少し対象の年代的なものが違う認識。こども施設は低学年、学生交流施設は学生が集まって勉強する認識を持っている。
- 委員 理解はできる。しかし年齢層を分ける必要はあるのか。多世代と言いつながら公共施設は年齢層を分けているものが多い。青少年施設、高齢者施設等あるが対象年齢層での違いはなくした方がいいと考える。
- 事務局 意見は、確かにその通り。我々はいただいた意見をまとめる中で、こどもの施設と学生の施設の傾向が顕著に見えてきたので、選択肢にした。意見は確かにその通りなので委員の皆様の見をいただきたい。多目的ホールと音楽ホールの違い。音楽ホールは、音楽専用のホール。多

目的ホールは、シンポジウム、コンサートでも使いたい意見があり分けた。美術館と市民ギャラリーは、美術館と市民の皆様が持ち込んで展示会を開くような活用。Cの憩いの場、イベントホールは、何も無いところで講演等いろんな活用ができ、いろんな活用ができるような幅広いものだったので分けた。もう1点、テーマパークは、砂丘の体験ができる場所をまとめた。資料2-3P2、民間活力を活用でまとめた。これは、民間活力の活用があれば可能性はあるが、行政が直接やる部分ではないという認識。

- 委員** 美術館、ホールは整備するということではないか。
- 事務局** 市民会館が隣にある。市民会館の耐用年数等を考慮しながら建設ということになる。同じものを同じ場所につくるものではない。ファシリティマネージメントの観点で、市内の施設の中で、整理・統合、全体を見ながら建築・建設となるが、時期はすぐすぐというわけにはならない。
- 委員** 市の状況を入れていくといいと思っている。
- 事務局** 補足する。今、委員からいただいたような意見を、他の皆様からもいただき、例えば統合する方がいいとか、逆に分けた方がいい等の意見をいただいて、市で検討し、最終案としたいと思っているので意見をいただければ大変ありがたい。委員の先ほどの発言を確認したい。Aについて他の聞き方ができると言われたが、アンケートのやり方についてのご提案か。具体的にどのような聞き方が教えていただきたい。
- 委員** 機能が3つくらいに絞ればAの中で活用策を聞くことができる。今は5つまとめて1つか2つ選ぶことになっている。このアンケート結果をどう使うのかわからない。例えばAについて必要な活用策を聞く。項目の整理ができればもう少し具体的に聞くことができる。
- 委員** BとDを復活させた背景は。
- 事務局** このたびのWSの人数が22名で少なかった。WSだけの意見をまとめるということが、市全体の意見をまとめたことになるのか疑念がある。今までいただいたアンケート等、様々な議論の中で活用策をもう一度見ながらアンケートを作ったらどうだろうという意見をいただいたと思っている。その中で、今までいただいた意見、AからEの5つの機能をもう一度ピックアップしてアンケートに反映させた。言われたように、令和3年度のWSでの取りまとめ、専門家委員会からの意見では、B・Dの機能はないが、令和2年度から始めた様々な意見交換の中では、BとDの意見もあったので掲載した上でのアンケートを考えている。皆様の意見をいただきながら復活させたと考えている。
- 委員** 資料1は市民アンケートに同封せずホームページで周知か。
- 事務局** 資料1はHPで公表するので誰でも見ることができる。ただ、アンケートの中には入れず、専門家委員会と議論、検討する資料。
- 委員** 資料1はホームページに載せて、理解を促進するために使用するという位置付け。
- 委員** 資料2-2の活用策は自由記述である。自由記述をする際に、資料2-3に書いてある内容をアンケートに答える方が見て、「なるほどこういう案がありそうだな。自分だったらこういう案にするかな。」と、自由に書いていただくということ。今回、まさに活用策を絞り込んでいくことが目的だとすると、数が集計できた方が効率的。せつかくこの項目は市としてはやらないと整理しているのであれば、自由記述より選択式がいいと思った。どっちがいいのか今すぐに判断はつかないが、やるのであればそこまでやってもいいと思った。資料2-2裏面。すごくわかりやすくいいと思った。これは、市の方針として、今後40年間で施設面積29%削減する、建物を建てるよりできるだけオープンスペースを活用していこうという意思の表れだと思ったが、特にメッセージとして書かなくてもいいか。
- 事務局** 活用策を絞り込むには、自由記載か選択肢か専門家委員会の意見を伺いながらやっていきたい。記載されたい方はおられるのかなということでこういう形で提案している。ファシリティマネージメントの考え方は、資料2-3P4に書いている。
- 委員** 選択式にしておいて、その他で自由記載を記載するやり方もあるので検討してほしい。

○委員 資料1。「アンケートの候補にしない」という考え方は大事なところ。前回のアンケートの際も申し上げたが、住民の中でも何が足りていないのか分かる。既存の行政サービスや既存の施設で、何が足りていないのか、明らかになったと思う。同じホールでもどういう使い方をしたいのか十分に取り込めていない。行政としては、「こういう意味でのホールはいらないと考えています。」ということを確認に打ち出す必要がある。そうすると、「市はそういう意味でのホールはいらないと思っているかもしれないが、私たち市民は、こういう意味でのホールが必要だと思っている。」と。そういうことで、より具体的にどういうホールが欲しいのか、どういう使い方ができるホールが欲しいのか、そういうことが答えてもらえる。そういう意味では必要なかなということになる。初めて市の一定の判断基準が、市民に対して示されるような気がしている。市で足りないものを整理したアンケートになることがふさわしいと思う。1つ提案だが、資料1裏面は、できれば配布して欲しい。HPで参考に掲載してほしい。それから、アンケートでA～Eの選択肢があってもいい。ただし、自由記述のところ、資料2-3P2で候補が挙げられている小学校統廃合用地から、歴史・文化発信の場。ここに番号を付けて聞けば、ある程度、統計的な処理もできるし、具体的にどんなものを望んでいるのか自由記述で把握ができる。自由記述を整理するのも、相手の意図がわからないので大変。市が整理した8つは本人の意思ではっきりする。2・3段階のアンケートのとり方をしてもいい。選択肢にすると処理がしやすい。判断基準では、資料2-3P3・4で説明しておく筋が通る。

○委員 資料2と別冊をもう少し機能的に組み合わせたいということ

■事務局 市が提案したのは、自由記載になっている。項目も含めて、それでなおかつ足りなければその他ということで、自由に書いていただく余地を残しておく提案。前回の委員会でも、項目を記載する案、それから自由記載の案を出して、前回の意見を踏まえて今回はこういう形にしてみたが、資料2-3P2のような形で候補を表記するというのであれば、今、委員が言われたような方法も十分あり得ると思う。どちらがいいのかということ、ここで他の委員の意見をいただいて、それを踏まえて最終案にしたいかがか。

○委員 今の市の意見に対して何かあるか。アンケート調査票にすべて情報を入れると收拾がつかなくなる。アンケート自体はシンプルにして、別冊と有機的に組み合わせる。アンケートP2の下のスペースを有効に使える。

○委員 資料2-3右欄をこのアンケートで直接聞いてもいいと思っていた。項目は減らして聞くとアンケートのフリーで書く欄が書きやすいし、関連づけて書いてくれる可能性が広がる。全部載せなくても内容を絞って、この中ならどれか、ない場合はどうか、足りなかったらどうかという書き方が答えやすいと思う。

○委員 資料1P2。カルチャースクール、こども教育施設、若者の学習拠点等にまとめられている。多目的ホール、美術館、音楽ホールもかなり絞られた。

○委員 資料2-3別冊P2に資料1P2の情報を掲載した方がいい。そうでなければなぜ無くなったのかという話になる。そこまで入れて聞くという整理でいいと思う。資料1と資料2の文言は整理しておくべき。アンケートの設問で「あなたが充実させたい」ではなく、「必要だと思う」ではないか。BとDについては、民間の意向が出てこないとやらないとのことなので、もし本当に必要だと思うなら書いてもらえばいい。オープンスペースについても広場が出てきている。広場については聞く必要がなく基本的に整備する。そこにAとCの機能によって大きさが変わること。オープンスペースを芝生にするか緑地にするか、運動ができる柔らかいものにするか、舗装して駐車場かイベントスペースにするか、聞いていいと思う。AとCについては、音楽ホールなら何人規模等整理すれば、本当に必要かどうか質問できる。AとCは聞いて、BとDはあれば聞くということで整理できる。

○委員 アンケート調査票は、ここに入れると大変なので、別冊に入れた方がいい。アンケート自体に入れると、どこが終点か分からなくなる。市民が書きやすいように説明を加えた方がいい。

- 委員 **資料2-2**。イメージを載せるのはわかるが施設の大きさを聞いているだけ。A～Dから矢印を引っ張るような見せ方はどうか。AとC、BとDがセットだと分かりやすい。
- 委員 アンケートの内容を、今の意見のように修正するのはいかがか。
- 委員 アンケートの内容を変える話が出ている。**資料2-3**P2。これはアンケートが自由記載なので、その自由記載をするための情報をたくさん盛り込んでいると思う。この委員会での議論が右側で、これまでの情報が左側、それを見ながらいろいろ考えてということ。選択肢になると、キーワードで選ぶことになるので、説明資料の抽出等、大分構造が変わってくるので、もう1回再整理をしないとイケないと思う。これから広げるといふより、まとめていくつか代表的なものの説明資料を添付する必要がある。アンケートも様式を変えるかどうかは大きい。今のところ選択肢の方が。
- 委員 自由記載は残すとしても、選択肢にするともう少し集約される。市の今後の考え方はどうか。
- 事務局 なかなかまとまらない部分もあると思うが、このたび、施設についてはかなりまとめて示した。例えば、学生交流施設、こども教育施設等、ここまでまとめた上で、さらにまとめるのは難しいと思っている。もう少し意見をいただかないとイケないという思い。アンケート様式の変更については、どこまでできるのか、今ここで答えられない。
- 委員 折衷案として、例えばアンケート用紙に別冊P2の右側を選択肢として番号をふって○をしてもらう。数の理論で絞り込むのであればそれが一番早い。アンケート調査票を今から抜本的に変えるのはタイミングとか、時系列で考えると難しい。A・C・Eは活用策を列挙して○をしてもらう。アンケート用紙自体の枠組みをどうするか。
- 委員 自分の意見も、委員長が示したやり方に該当すると思う。自由記載は、機能、具体的な使い方、運営の仕方等の具体的な記述をお願いすれば絞れると思う。
- 委員 **資料1**の「活用策の候補にしないと考えるものも別冊に掲載しては。」との意見もあった。BとDについては、活用例はないが必要だと思うのであれば記載できるよう工夫してはどうか。
- 委員 委員長の意見でいい。できるだけ簡単なアンケートがいい。
- 委員 アンケートの形質は、選択肢でどうか。
- 委員 このタイミングでどこまで絞り込みたいのか、市としてのスタンスにかかってくると思う。WSの参加者が少なかったので、アンケートの自由記載で拾いたいと想像はした。自由回答だけだと集計、分析が大変だと思うので、ある程度、数が拾えるようにした方がいい。
- 委員 委員長の意見でいい。
- 委員 **資料2**の教育・学習・芸術・文化機能の活用策に番号を付していただき、それ以外に意見があれば自由記載。もう一度アンケート調査票を選択肢にし、併せて別冊を整理して委員に見てもらおう。候補としなかった活用策を別冊に入れるか、HPに掲載するかであるが、市の方向性としていかがか。
- 事務局 今いただいた意見を基に作り直しをする。**資料1**の活用策の候補としないものの取り扱いについては協議をしたい。ただオープンにし共有をさせていただく。別件で確認したい。今、議論となっている別冊P2のところ、右側が令和3年度、活用策を取りまとめたもので、BとDの活用策がない。左側が今まで出た意見。今回のアンケートの選択肢として記載する項目は右側の列のところを考えればよいか。
- 委員 右列をそのまま使うか、もう少し集約するかを考えていただいき、それに番号を付して選択肢にし、○をしてもらうイメージ。
- 委員 **資料2-1**アンケートの返信について送りっ放しだとダメでいかに回収するかが必要。これだと郵送のみ。下の記載ではFAX、メールが書いてあるので、FAXでもOKとか、メールに写真を添付して送信でもOKとか記載の補足があっても親切だと思う。
- 事務局 悪用することはないと思うが、例えば、コピーをされている方がメール添付して送られることもあるかも知れない。無記名なので市としては、無作為抽出2000名に回答をいただくこと

が大切だと思っている。もし万が一、たくさんメールで送られると、どのアンケート用紙が、我々が送ったものかが分からなくなることがあるので、ここは、切手不要の返信用封筒で、回答していただくのがいいと思っている。

- 委員 ここに書いてあるファックスとかメールは、不明な時の問い合わせということか。理解した。
- 委員 2000名を対象とする。400名以上あれば、統計学的には信頼度が高いということだと思う。なるべく市から働きかけをしてたくさん回収していただく。アンケートで、「あなたが充実させたいと思う機能」を、「あなたが鳥取市に必要と思う機能」に変えたら、公共性が増す。もう一度、アンケート、別冊を作成していただき見せていただければと思う。
- 事務局 今日いただいた意見を基にアンケートを再度、作り直す。資料2-1、資料2-2、資料2-3も再度作り直し、まず、委員長に見ていただきたい。確認後、委員の皆様にもう一度送らせていただき、修正の意見をいただき最終案にしたい。
- 委員 私と副委員長の両方に送ってほしい。

(2) その他

- 事務局 先ほどアンケート修正の提案をいただいた。その後、アンケート調査を行い、アンケートの整理ができれば、専門家委員会を開催しアンケート結果等をお伝えしたい。また、詳細日程が決まったら案内する。
- 委員 昨日のニュースを情報共有する。茨城県で、学校給食センターを新しく作り直したらしい。そこも防災センターとして併用するとのことで、災害時には、給食センターで5000人の食事が提供できるので、一大防災拠点というような新しい試みが始まる。
- 委員 その活用案も専門家委員会の案として、別冊に入れられたらと思う。